

西公民館

絵手紙教室

茂川 幸子 (北川原)



▲個性がキラリと光る作品が続々と…

月に2回、西公民館で大政孝子先生のご指導のもと、絵手紙教室が開かれています。「下手でいい。下手がいい。」の言葉に誘われ、今では二十数名が下手を楽しんで描いています。まず、半紙に青墨で線描きをします。縦、横、渦巻き、太い線、細い線と描きま

み出す様に大きく描きます。「まだまだ大きいぞ」と想像させる様に描ければ上出来です。顔料で塗るのはサーッと。「塗りすぎないで。お隣り同士でストップをかけて」と先生の声がとびます。少しでもうまく見える様にと色を塗り重ねてしまうのです。

今年から、一つは皆で同じ物を書いてみよう、1月は椿を描きました。描いた後の合評も楽しみの一つです。同じ画材なのに、ポイントのとらえ方、色のつけ方がそれぞれで、その人らしさのあふれた作品ばかりでした。先生から色づかいのアドバイスがあったり、構図や添えられた言葉がいいとほめていただいたり、また、「私の絵はだしのきいてないお汁のようで、ただ水と醤油を混ぜたようです。」とユニークな自己批評があったり。でも、先生から「絵手紙は、上手を競うものではありません。」と、私たちは安心して下手を楽しんでいます。



▲和気あいあいの教室

絵手紙は本来切手を貼って出すものです。病気の方を励ましたり、頂き物のお礼に、折々の生活の節目などに出します。絵手紙をもらうということは、いくつになっても嬉しい限りです。

また、先生のご主人のご協力で、先生のホームページに教室の絵手紙も出してくださっています。それもまた励みになります。

(<http://www.23.ocn.ne.jp/~elegami/>)

描いて楽しい、もらって嬉しい、いつから始めても初心ですが、下手をずっと描き続けたいと思います。一度のぞいてみませんか。

補導センターだより

伊予高校二十歳になつて

伊予高等学校 宮本敏一

伊予高校もここ松前町に産声を上げて以来21年目を迎えました。昨年度は多くの記念行事を行い、更なる躍進を誓ったところです。

伊予高校は地域の学校としての特性と、大規模校としての特性を生かした文武両道の学校であることをめざしています。地域から愛され、信頼される学校が目標です。現在、伊予郡市から通学している生徒が約40%、その他の地区の生徒が60%です。伊予高校生は、地域の方々から期待の目で見ていただいているという自覚を持たなければならぬと指導しています。松山市内であれば、どこかの高校生ですが、地域では、わが町の伊予高校生です。この自覚を持って生活してくれればと思っています。

伊予高校も現在まで8千名近くの卒業生を送りだし、町内はもとより県内外で活躍しています。在校生も先輩に続けと日々頑張っています。現

在3年生は、センター試験を終え2次試験に向けて猛勉強中です。すでに進路の決定した生徒もいますが、これから受験本番です。1・2年生は勉強に部活動に毎日励んでいます。先日行われた、ホッケー部の全国大会出場をはじめ、文化部・運動部とも頑張っています。

伊予高校は県下でも素晴らしい環境と施設で有数の学校です。この学校をとりまく道路が1km弱で周辺の方々の方々のウォーキングコースになっているようです。生徒たちもラニングをしています。気持ちよくウォーキングを楽しんでいただけるよう道路の清掃など気をつけています。本校はエコスクールとして、太陽光発電施設を設けており、南側道路の街路灯を設置しました。北側はまだですが、皆さんも伊予高周辺ウォーキングをお楽しみいただければ幸いです。